

西部の男 (1940)

THE WESTERNER

メディア 映画

ジャンル 西部劇

製作国 アメリカ

色彩 B&W

時間 100分

初公開日 1951/01/11

公開情報 大映洋画部

【解説】

1880年代のテキサス、移民と在来地主との争いは絶えず、判事でなおかつ牧場主でもあったロイ・ビーン（W・ブレナン）は強引なやり口で新興農民を退けようとし、仕返しに危うくリンチされかかる所を、流れ者のコール（クーパー）の仲裁で助けられた。お蔭でその年は豊作となったが、感謝祭の日、判事は焼き打をかけ、怒ったコールは、副保安官となって判事と対決する。ビーンが単なる悪徳判事でないのは、ポール・ニューマン主演の同名映画でも明らかだが、ここでも、憧れの女優リリー・ラングトリーを町に呼び、席を買い占めて嬉々として開演を待つ姿は、どうにも憎めない。ワルだけど愛すべき男なのだ。そんなブレナンにさしものクーパーも完全に喰われ、オスカー助演賞も当然。全体に正攻法の西部劇だが最後の劇場シークエンスは、ワイラー本来の緊密な演出が冴え、実に面白い。

【クレジット】

監督	ウィリアム・ワイラー	William Wyler	
製作	サミュエル・ゴールドウィン	Samuel Goldwyn	
原作	スチュアート・N・レイク	Stuart N. Lake	
脚本	ジョー・スワーリング	Jo Swerling	
	ニーヴェン・ブッシュ	Niven Busch	
撮影	グレッグ・トーランド	Gregg Toland	
編集	ダニエル・マンデル	Daniel Mandell	
音楽	ディミトリ・ティオムキン	Dimitri Tiomkin	
出演	ゲイリー・クーパー	Gary Cooper	コール・ハーデン
	ウォルター・ブレナン	Walter Brennan	ロイ・ビーン
	フレッド・ストーン	Fred Stone	カリフェット・マッシューズ
	ドリス・ダヴェンポート	Doris Davenport	ジェーン・エレン・マッシューズ
	フォレスト・タッカー	Forrest Tucker	ウェイド・ハーパー
	チル・ウィルス	Chill Wills	
	ダナ・アンドリュース	Dana Andrews	
	ポール・ハースト	Paul Hurst	
	リリアン・ボンド	Lilian Bond	
	チャールズ・ハルトン	Charles Halton	
	トレヴァー・バーデット	Trevor Bardette	
	トム・タイラー	Tom Tyler	
	ルシアン・リトルフィールド	Lucien Littlefield	